

# 献血サポーターご紹介コーナー Vol.22

## 70th SINCE 1948 TAKAMAZ 高松機械工業株式会社 様

自動車関連部品や家電など、モノづくり現場には欠かせない、工作機械の開発・製造・販売・サービスマンテナンスを行われている会社です。中でも、コンピュータ制御で部品を切削するCNC旋盤を主力製品として、常に顧客の視点に立ち、「稼ぐ機械」の提供に努められています。昭和23年の創業以来、今年で70周年を迎え、細かな顧客ニーズに合わせた自動化システムを提案できる工作機械メーカーとして確固たる地位を築き、国内だけでなく海外でも活躍の場を広げられています。



献血には昭和48年からご協力いただいています。直近5年間だけでも計572名もの社員の皆さまが献血してくださいました。本年3月にも献血バスが伺い、多くの社員の皆さまが献血してくださいました。当日ご協力いただいた皆さまには、高松機械工業株式会社様よりお菓子のプチギフトが贈られました。長年にわたる献血協力のご功により、平成10年には石川県知事感謝状を、平成23年には厚生労働大臣感謝状を受賞されています。



当社では、社会貢献活動の一環として、毎年夏・冬の年2回、献血活動を実施しております。特に血液が不足する冬場の献血では、1名でも多くの社員の協力を、という思いから、バレンタイン献血キャンペーンとして会社独自にプチギフトを準備するなど、積極的に献血に取り組んでまいりました。

今後も輸血が必要な患者様のお役にたてるよう、会社として協力を続けさせていただきたいと思っております。

(総務人事部 総務課 水上 紗代 様)

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.



●「献血サポーター」とは  
医療に必要な血液を献血によって安定的に確保するために、献血に積極的に協力していただける企業・団体の皆さまです。

### 献血サポーターに関するお問い合わせ

石川県赤十字血液センター 献血推進課  
または、献血サポーターホームページ  
TEL (076) 254-6372  
<http://www.ken-sapo.jp/>

## 祝 15年連続 学内献血年間1,000人達成!

金沢工業大学では、学友会学生健康委員会主催の学内献血を年間通して実施しています。1月24日(水)、年間学内献血者数が1,000人に到達しました。2003年度から15年連続達成の快挙です。

1,000人目となった環境土木工学科3年の植木崇司さんには、当センター塩原所長より記念品が、学内献血を主催する同大学友会学生健康委員会には、感謝状と記念品がそれぞれ贈られました。

植木さんが献血を始めたのは、自動車免許を取得した際に、普段から献血に協力しているお父様から「いつ自分が輸血を必要とするかわからないから、献血してみたら」と言われたことがきっかけで、年数回献血して下さっているそうです。

学友会健康委員会の皆さんも、「来年度も引き続き学内外へ献血を積極的にPRしていきます」と、16年連続達成に向けて意気込みを新たにしていました。

たくさんの皆さまのご協力、ありがとうございました!!



## ありがとうございます!! 永年献血

長きにわたり献血にご協力いただき、今般献血を卒業された皆さまをご紹介します

何年か前に成分献血を知り、それからよく通うようになって結果83回を数えて献血を終えました。血液検査の通知もあり、よく友人にも献血を勧めますが、高血圧やB型肝炎などで献血ができない人も多いためです。そう思うと自分が70歳まで献血できたというのは、本当に恵まれていたのだと感謝しきりです。ありがとうございました。

大家 健治 さん(白山市在住)

## あとかぎ

新年度が始まりました!新たな環境で新生活をスタートした方も多いのではないでしょうか。石川県赤十字血液センターのホームページも、4月1日(日)からリニューアルしました。献血に関する情報をより見やすくお届けします。ぜひご覧ください。

さて、今回の特集記事では、献血協力企業・団体の皆さまに献血へのメッセージをお寄せいただきました。献血への思いや患者さんを思う温かな心に触れ、私たち血液センター職員も「献血される方の『無償の愛』を患者さんに大切に必ずお届けする」という使命を改めて確認し、決意を新たにしました。

(編集委員:1)



献血ルーム ル・キューブに、北陸学院高等学校 野球部の皆さんが来てくれました!

皆さんも、友達と一緒に献血してみませんか?

血液センターでは、「トモケン」キャンペーンを実施しています。高校、大学(大学院を含む)、短期大学、専門学校に在籍中の学生さんと、ご本人とお友達の合計2名以上で献血協力された方が対象です。

詳しくは、血液センターホームページをご覧ください。

石川県赤十字血液センター



### ▶▶ 献血ルーム ル・キューブ ◀◀

【受付時間】10:00~12:30 / 13:50~18:00

【定休日】月曜日(祝日の場合は開設)

### ▶▶ 献血ルーム くらつき ◀◀

【受付時間】月~金 9:00~11:40 / 13:00~16:45  
土 8:30~11:40 / 13:00~16:15

【定休日】日曜・祝日

### ▶▶ 献血バス ◀◀

【受付時間】各市町広報や献血会場ポスター、石川県赤十字血液センター HP等でご確認ください



石川県赤十字血液センター

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

リニューアル!



石川県赤十字血液センターホームページ

# さしお

## SACHISHIO

【さしお】  
「血液事業をおとして、みなさまの幸せに貢献する」との願いを込め、幸せの「幸(さち)」と「血潮(ちお)」を組み合わせ、名付けられました。

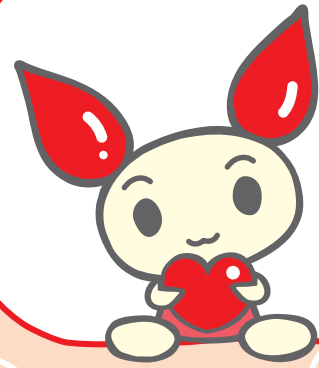


献血キャラクター けんけつちゃん  
石川県バージョン 利家チッチとまつチッチ

# Vol.133

2018.4





# わたしたちの思い

～ 献血にかかわる様々な立場から～

春号は、献血実施を支えてくださる献血協力団体の皆さまや、献血推進ボランティアの皆さまにお話を伺いました。

## 献血は 助けあい

フコク生命は創業以来一貫して相互会社形態をとり続けている唯一の会社です。相互会社は相互扶助の精神から生まれたご契約者を中心とした組織ですが、献血も助けあいです。いつ自分が輸血を受ける立場になるかもしれない、「お互いに支えあう」という理念に共感し、支社を挙げて献血に協力しています。

家族が輸血を受けた職員がおり、その経験を皆に話してくれたことがありました。それもきっかけの一つとなり、職員一人ひとりが献血の必要性を改めて認識し、支社全体で輸血を受ける患者さんへの協力の意識が高まりました。金沢支社では支社長自ら陣頭にたって、職員が献血に協力しやすい職場環境を整えてくれています。支社で一丸となって献血に協力することで、支社内ですらに献血への理解と協力が進んでいます。



また、石川県の生命保険協会で毎年献血キャンペーンを行っており、その時期には特に積極的に協力しています。その期間中に、家族と一緒に献血したり、中には賛同してくださった取引先の方と一緒に献血に行ったりする職員もいます。

献血を通して、「誰かのために」と行動する、人の温かさを実感しています。

誰もが本来持っている「誰かの役に立ちたい」という思いを具体的に実践できる手段の一つが献血です。献血によって、一人でも多くの患者さんやご家族が笑顔になってくれたらと心から願って、これからも皆で献血に協力していきたいと思っています。

富国生命保険相互会社 金沢支社  
支社長 **大上 健二郎** さん  
内務次長 **河原 悠香子** さん

## 献血は 地域とのつながり



私たちは、地域のための様々な奉仕活動をしています。その中でも、献血推進活動は主要な活動の一つで、年2回の輪島市内での献血時には、日時などの広報や協力してくださった方への記念品贈呈など、メンバー全員で力を合わせて協力しています。

献血協力を始めて40年以上になりますが、呼びかけに応じて毎回200人を超える皆さんが協力してくれます。活動をしていて嬉しいのは、来てくれた方が声をかけてくれることです。「新聞のお知らせ見て来たわ」「今日も400mL献血できたよ」「比重が足りんで献血できなかったわ」「また記念品楽しみに来るね」献血会場は街の皆さんとのふれあいの場です。また、こうしたコミュニケーションが、私たちライオンズクラブの活動をさらに知っていただくきっかけにもなっています。

現在は、地元の高校生の海外交流支援なども行っています。将来を担う若者たちには、ぜひ幅広い視野を持って地元のために活躍してほしいと願っています。その一環として、献血にもぜひ協力してほしいことから、献血者として、またボランティアとして、献血の重要性を直接伝えていきたいと思っています。当クラブは、平成32年に創立50周年を迎えます。これからも未永く献血推進活動を続けていきたいと思っています。

輪島ライオンズクラブ  
幹事 **木村 隆明** さん  
四献委員長 **川端 章義** さん



## 献血は 誰かの役に立つ喜び



弊社は、郵便局ネットワークを通じて郵便、貯金、保険のユニバーサルサービスを提供しており、地域の皆さまの生活と密接に関わっております。弊社では、地域貢献の一環として、尾張町に社屋があった北陸郵政局時代の昭和51年から、毎年2回献血バスでの献血に協力しています。

金沢上堤町ビルに移転した現在は、弊社社員だけでなく、同じビルに入居する企業さまや来訪者など、毎回多くの方が献血受付に来てくださいます。弊社の拠点を協力の輪が広がっていることを実感でき、献血を通して新たな地域社会とのつながりができるのも嬉しく思います。

この3月にも献血を実施したのですが、今回は、毎回協力してくれる社員だけでなく、新たに若手社員もたくさん協力してくれました。ボランティアに対して積極的に、献血にも率先して協力してくれる若手社員の意識の高さを感じたところです。

「社会貢献」「ボランティア」というと、どこか照れくささや躊躇、遠慮などがあり、なかなか実行できるものではありませんが、献血は、協力しようという気持ちさえあれば気軽に短時間で協力できるボランティアだと思っています。私の場合は、誰かの役に立つことへの喜びがありますし、献血して「ありがとう」と感謝していただけることが次回の献血へのモチベーションになっています。先日、血液センタースタッフの方から「献血をされた方に私たちは感謝の気持ちを伝えていますが、輸血を必要としている全ての患者さんを代弁して感謝の気持ちを伝えております」と教えていただき、より一層、献血への協力を続けていきたいと思ったところです。

弊社が入居している金沢上堤町ビルで献血バスを見かけたら、ぜひ献血に協力をお願いします。

日本郵便株式会社 北陸支社  
経営管理本部 総務・人事部  
課長 **中村 元春** さん



ぼすくま©JAPAN POST Co.,Ltd.

## 献血は 身近なボランティア



様々なボランティア活動を行っていますが、献血の呼びかけは、年間を通して行っている私たちの代表的な活動の一つです。献血ルーム周辺の近江町市場前などで、市民の皆さんに献血への協力を呼びかけています。

活動中に、「今献血してきたよ」「これからもがんばってね」と励ましの声をかけていただけることがあります。自分たちの呼びかけによって、誰かが献血に協力してくれて、患者さんのためになったと実感できます。そのことでとてもやりがいを感じて次もがんばろうと思います。

また、活動中に献血について質問されることもあります。そこで、定期的に勉強会を開き、メンバーで献血に関する知識を共有しています。今後は、輸血を受ける患者さんのことも勉強し、理解を深めたいです。

この活動を通して、たくさんの方がボランティアとして献血を支えていることも知りました。

これからも献血の呼びかけ活動を続けて、献血できる年齢になったらぜひ自分たちも協力したいと思います。

石川県立金沢商業高等学校  
インターアクトクラブ  
**酒井 奏音** さん、**東渡 香織** さん、**長濱 泉綺** さん



## 献血は 皆でできる貢献

毎年9月と3月に会社に献血バスが来て、社員有志で献血に協力しています。

採血ベッドに寝ると、バスの天井に輸血を受けた患者さんからのメッセージが掲示されています。直筆で綴られた感謝の言葉を読みながら献血していると、毎回、少しでも患者さんの役に立たせてもらえてよかった、という気持ちになります。

また、会社以外に献血ルームでも協力しています。「複数回献血クラブ\*1」の会員にもなっているので、メールで血液センターから要請が来ると近隣のショッピングセンターなどに出向いて協力したりもしています。

\*1 「複数回献血クラブ」…輸血を必要とする患者さんに安定的に血液製剤をお届けするために、年間2回以上献血にご協力いただける方から会員を募集しています

献血すると、後日血液検査(生化学検査と血球計数検査)の結果が届きます。健康のバロメーターになるので、社員同士で数値がどうだったか話題になります。また、希望する社員には、看護師による健康指導時の資料としても活用しており、社内の健康意識の醸成にも役立っています。

若い社員の中にはまだ献血をしたことがない者もいますが、気軽にできる献血で命を救うことができるということを、今後も積極的に社内に広めていきたいと思っています。また、弊社は「献血サポーター\*2」にも参加していることから、社会貢献の一環として今後も献血に協力するだけでなく、企業や団体での献血のモデルケースとして、弊社の献血協力活動を対外的に紹介していきたいと思っています。

\*2 「献血サポーター」…団体が献血にご協力、または社会貢献活動としての献血活動を広くPRし、いただいている企業や団体の皆さま



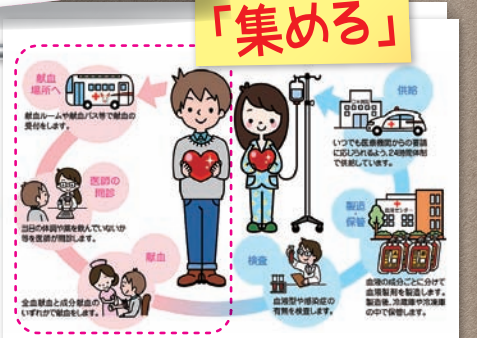
最初は緊張することもあるかもしれませんが、誰かと一緒なら心強いですし、思い切って最初の一步を踏み出せば、案外気軽に献血できることがわかんと思います。患者さんのために、皆さまもぜひ献血にご協力ください。

株式会社 富士通ITプロダクツ  
看護師 **西井 美鈴** さん  
装置製造部 **小林 誠** さん

## コラム 献血のゆくえ

皆さまからいただいた大切な献血は、「集める」「調べる」「つくる」「届ける」の4つのステップを経て輸血を待つ患者さんのもとに届けられます。今回は「集める」についてお話しします。

献血は、県内2か所の献血ルーム(ル・キューブ、くらつき)と、各市町に何回献血バスで、年間を通して募集しています。



献血ルームでは、全血献血と成分献血が、献血バスでは全血献血ができます。献血バスは、県内各市町の官公庁、企業、団体、ショッピングセンターなどを巡回しています。

輸血を受ける患者さんを支えるために、毎日たくさんの皆さまが献血してくださいますが、時には大量の血液が必要になることも…そんな時には、あらかじめ献血登録\*2していただいた方にお電話して、献血に来ていただくこともあります。 \*複数回献血クラブ、血小板成分献血登録 など

たくさんの皆さまのご協力によって、患者さんの治療が支えられているのです。

▶次回は「調べる(検査)」です